

逢初川土石流の発生原因調査報告書 正誤表

箇所

第3章 地形・地質の詳細と盛り土履歴

3.3 盛り土履歴調査

3.3.1 調査方法 P3-12

※2025年12月1日訂正

誤

表 3-1 解析に用いた空中写真等と結果概要

時期	撮影機関 種類 (縮尺)	標高 データ	オルソ 画像	備考
1967 年 10 月 12 日	国土地理院 モノクロ写真 (20,000 分の 1)	DSM	○	全体に植生が少なく DSM ではあるが地形が比較的判読しやすい。
1976 年 11 月 6 日	国土地理院 カラー写真 (10,000 分の 1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。
1999 年 12 月 7 日	国土地理院 カラー写真 (30,000 分の 1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。 樹木等が成長し DSM での地形判読は困難。
2002 年 1 月 23 日	静岡県砂防基盤図	DEM	○	等高線から DEM を作成。 崩落地の地形改変はほぼ認められない。
2005 年 1 月 8 日	国土地理院 カラー写真 (20,000 分の 1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。 崩落地北側の造成が始まっている。
2009 年 6 月 27 日	国土交通省 航空レーザ計測	DEM	○	私道上部が埋め立てられた。崩落地の盛り土が始まっている。 北側造成地の地形変更はほぼ完了。
2012 年 12 月 11 日	国土地理院 カラー写真 (10,000 分の 1)	DSM	○	崩落地の谷底に小段を伴う盛り土が形成された。
2017 年 8 月 9 日	国土地理院 カラー写真 (10,000 分の 1)	DSM	○	崩落地上部の私道上に小規模な盛り土。 南側の尾根にソーラー発電所敷地。
2019 年 12 月 11 日	静岡県 航空レーザ計測	DEM	○	2017 年から大きな地形改変は認められない。 逢初川を埋めた盛り土の最下部では小規模な盛り土の崩落が認められる。

注：このほか、1983 年・1989 年・1994 年にも空中写真が撮影されているが、1999 年までは崩落箇所付近における積極的な地形改変は行われていない。また熱海市の都市計画図もあるが等高線間隔が広い等により、解析には適さなかった。

正

表 3-1 解析に用いた空中写真等と結果概要

時期	撮影機関 種類 (縮尺)	標高 データ	オルソ 画像	備考
1967 年 10 月 12 日	国土地理院 モノクロ写真 (20,000 分の 1)	DSM	○	全体に植生が少なく DSM ではあるが地形が比較的判読しやすい。
1976 年 11 月 25 日	国土地理院 カラー写真 (10,000 分の 1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。
1999 年 12 月 7 日	国土地理院 カラー写真 (30,000 分の 1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。 樹木等が成長し DSM での地形判読は困難。
2002 年 1 月 23 日	静岡県砂防基盤図	DEM	○	等高線から DEM を作成。 崩落地の地形改変はほぼ認められない。
2005 年 11 月 8 日	国土地理院 カラー写真 (20,000 分の 1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。 崩落地北側の造成が始まっている。
2009 年 6 月 27 日	国土交通省 航空レーザ計測	DEM	○	私道上部が埋め立てられた。崩落地の盛り土が始まっている。 北側造成地の地形変更はほぼ完了。
2012 年 12 月 11 日	国土地理院 カラー写真 (10,000 分の 1)	DSM	○	崩落地の谷底に小段を伴う盛り土が形成された。
2017 年 8 月 9 日	国土地理院 カラー写真 (10,000 分の 1)	DSM	○	崩落地上部の私道上に小規模な盛り土。 南側の尾根にソーラー発電所敷地。
2019 年 12 月 11 日	静岡県 航空レーザ計測	DEM	○	2017 年から大きな地形改変は認められない。 逢初川を埋めた盛り土の最下部では小規模な盛り土の崩落が認められる。

注：このほか、1983 年・1989 年・1994 年にも空中写真が撮影されているが、1999 年までは崩落箇所付近における積極的な地形改変は行われていない。また熱海市の都市計画図もあるが等高線間隔が広い等により、解析には適さなかった。